

朴 珠 抄

能村研三推薦

白鳥を見に行く車洗ひをり
寒波来と縄文土器は火の匂ひ
大空へ詩のアンテナを立てて冬
年参り無垢なる闇と出会ひけり
近づかず近づいて来ず雪螢
神様はいつも聞き役初詣
玉砂利の淑氣のリズム奏でをり
毛糸編む時をかたちにするごとく
追ふものと追はれるもの霏霏と雪
先生はみんなに平ら冬日差
さみどりを花と結びてみつば汁
本心の指にありたる懐手
一瞬の手首の返し喧嘩独楽
乾杯のこゑ沸点の年忘
数へ日にちよつとたんまとばかり雨

吉田 政江
岡部 玄治
栗原 公子
峰崎 成規
栗坪 和子
七田 文子
田所 節子
清水 陽子
村上 葉子
古居 芳恵
頓所 敏雄
中村 重幸
矢野 隆男
稗田 寿明
松倉 聖子